

OSK・TMC共催セミナー：「世界の課題にいま企業はどう対応するか！」カリキュラム表

2019年 9月 12日

一般社団法人 大阪府産業支援型NPO協議会【OSK】

NPO法人 テクノメイトコープ【TMC】

講座No.	開催日	講座名及び講座の概要	講師	会場
1	10月 3日(木)	SDGsと企業の係わり SDGs [明るい世界を目指す持続的開発目標(2030年)の17のゴールと169のターゲット]の意味と趣旨、地球環境問題など諸問題をはらんだその背景、SDGsの活用による企業のメリット、取り組みの事例について解説します。	佐藤 伸吾	研修室C
2	10月11日(金)	地球温暖化と気候変動が企業活動に及ぼす影響 地球温暖化の企業への影響として、特に自動車産業は裾野が広く、広範囲の企業(製造業)へ影響を及ぼすので、この点を主に解説し、更に温暖化ガスのクレジット制度(JCM)等についても解説します。	浅井 陸之	研修室C
3	10月18日(金)	再生可能エネルギーの動向と課題 再生可能エネルギーは、小水力、太陽光、風力、バイオマスに大別されて検討され、技術的に進んできていますが、いくつかの課題が残されています。その現状について解説します。	大石 哲夫	研修室C
4	10月24日(木)	IOT・AIの現状と将来 ①IT・IoTに取組む目的、②効果的な取組み方法(データ収集と分析)、③IoTの技術(ハードウェア、ソフトウェア、クラウド)、④中小企業における活用事例、⑤国・自治体の中小企業支援について解説します。	山本 英毅	研修室C
5	10月31日(木)	脱プラスチックへの企業の挑戦 プラスチックの海洋汚染問題がクローズアップされる中、脱プラスチックに向けて関連各企業は、代替素材の開発、使用済み素材のリサイクルプロセスの構築、使用量の削減等に挑戦していますが、その現状を解説します。	中野 政男	研修室C
6	11月 7日(木)	リスクマネジメントとBCP(事業継続計画) 事業活動では様々なリスクがあり適切に管理することが求められています。南海トラフ大地震も想定されていることから、策定が急務となっている事業継続計画(BCP)について解説します。	西川 譲	研修室C
7	11月15日(金)	水問題と水をめぐる企業活動 水の物理化学的な説明と水に関連したいろいろな事業の紹介と新しく水に関連する事業の立ち上げを示唆します。例えば、水耕栽培、魚類・海藻関連の養殖事例、水の浄化、水蒸気の調理、ファインバブル水などを解説します。	平岡 重道	研修室D
8	11月21日(木)	働き方改革とその取組み方 人口減少による人手不足・過労死の問題・派遣労働者や外国人労働者の増加・終身雇用の崩壊・人工知能への代替等激しく変動している労働環境の「働き方改革とその取組み方」は企業の最重要課題であり、その現状を解説します。	堀本 利夫	研修室D
9	11月28日(木)	企業に不可欠な新しい環境マネジメントシステム(EMS) 我国にEMSが導入され20年以上経過しますが、2000年前後のブームは影を潜めています。EMSの現状、並びに問題点とその要因を踏まえ、事業に役立つEMS、及び今後のEMSの展開等について解説します。	中村 茂樹	研修室D
10	12月 6日(金)	環境問題の市民活動と企業の係わり SDGsが採択され、企業の社会的責任(CSR)が注目されています。行政、NPO、企業が一体となって環境問題、市民活動を推進する必要があります。この事例を紹介し、解説します。	斉藤 昇	研修室C

注記)①セミナー時間：午後6時30分～8時30分の2時間【途中で10分間の休憩があります。】

②セミナー会場：大阪産業創造館[大阪府中央区本町1-4-5]5階の研修室CもしくはD

③講師陣：環境カウンセラー、環境計量士、エネルギー管理士、公害防止管理者、EMS関連の審査員・審査人・評価員、技術士、経営士等の資格を有する実務経験豊富な者で構成しています。